

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) タカサキケイザイダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) モウリキヌエ
高崎経済大学	経済学部	藻利衣恵ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) モウリゼミ エーハン	フリガナ) オオタカ ヒロキ	8	無	
藻利ゼミ A 班	大高 浩樹			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

世界遺産としての富岡製糸場

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

日本には数多くの世界遺産が存在します。そもそも、世界遺産とは、ユネスコ協会が採択された文化財・景観・自然等の人類が共有すべき顕著な普遍的価値を有する物件を指します。日本では、姫路城や原爆ドームのほか、2018年に長崎県の天草地方のキリスト教の関連遺産が世界遺産に登録されました。

しかし、世界遺産登録の効果は、本来の意義(物件の保全)のみではありません。というのも、例えば、世界遺産登録により、多くの人々はその土地を訪れることになり、宿泊や土産販売が増加します。それが地域の活性化につながり、経済効果はその地域にとって大きいものとなります。2020年には東京オリンピック開催が控えており、多くの外国人が観光に訪れることが予想されることから、日本における世界遺産は大きな意味を持つと考えられます。

そこで私たちは高崎経済大学の学生という立場から、県内唯一の世界遺産である富岡製糸場に焦点を当て、富岡製糸場を通して世界遺産の在り方や世界遺産とは保全のためなのか、それとも地域発展にあるのか、あるいは他の目的があるのかを自分たちなりに検討したく、このテーマに選択しました。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

富岡製糸場は、富国強兵政策のため生糸の品質改善と生産向上を目的に 1872 年に設立され、1987 年に操業停止されるまでの約 100 年間日本の産業を支えてきました。この功績が認められ、2014 年に世界遺産に登録されました。現在は富岡市に管理保全され、観光向けに一般公開されています。

そもそも、世界遺産は富岡製糸場のように、費用がかかっても後世に残すために登録されるものです。世界遺産には、長年の歴史や人々の思い、豊かな自然が詰まっています。これらの文化や価値については、文書や写真では伝わりにくく、それらの文化や価値は、直接触れたり、見たりして初めて感じることができます。

しかし、日本の世界遺産は、観光客の増加や登録における地域の活性化による観光が、第一の目的になっています。もちろん、世界遺産のもたらす経済効果は莫大なものがあります。また、保全にはある程度の費用がかかるため、この費用を算出するには、県や市からの寄付金だけでなく、それなりの利益を出す必要があります。そのため、現在の日本では、利益を出すことばかりに注目がいき、その結果、街の景観を失ったり、マナーの悪い観光客の増加など世界遺産の価値を落としてしまう可能性が出てきます。

このように、日本では世界遺産の意義を正しく理解している人は少なく、観光産業に重点が置かれています。しかし、研究を通して、富岡製糸場は観光だけではなく保全にも力をいれており、バランスが取れていることから、世界遺産のあるべき姿であると私たちは感じています。



3. 研究テーマの課題

富岡製糸場は主に 3 つの問題点があります。1 つ目は観光客の減少です。富岡製糸場の来場客は年間約 20~30 万人でした。そして世界遺産登録年には約 4 倍に増加しました。しかしその後は減少傾向にあります。

2 つ目は膨大な維持費や修繕費がかかることです。富岡製糸場の経済効果は 34 億円と言われていまいます。しかしそれ以上に維持するのに費用がかかります。富岡製糸場は明治時代の建物であり、いい状態を保つための保存修理や防災工事、また観光客のためのトイレなどの整備に 30 年で 100 億円以上の費用がかかると言われています。維持費だけでいえば年間 1 億円かかることもあります。

3 つ目は交通アクセスが良すぎることです。交通アクセスが良いことは地域にとってもその施設にとってもメリットです。しかし、交通アクセスが良すぎて最終目的地にならず、ついでにちょっと寄りだけや滞在時間が短くお金を落としてくれないなどメリットのはずの経済効果がデメリットになることもあるのです。



4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

以上の問題点である観光客の減少には、最寄駅の上州富岡駅の改装や富岡製糸場周辺にインスタ映えするカフェ、さらにレトロな街並みを生かし明治時代の工女姿で散策できたり、若者や女性も楽しめる取り組みを行うことで、観光客の増加につながっています。

富岡市世界遺産部富岡製糸場保全部の課長である結城正則さんのお話の中に、「観光客は年々減少しているが、一人当たりの滞在時間は伸び、団体ではなく個人での観光客の比率が増加しているので、しっかり富岡製糸場見てくれていると感じている。観光客はいい傾向に変化している。」ということを知ることができました。このような観光客をさらに増やすために、Facebook などを通して情報を伝えていくことが必要だと私たちは考えています。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

富岡市世界遺産部富岡製糸場保全部の課長である結城正則さんのもとに実際にお話を聞きに行き、富岡製糸場の世界遺産の登録の経緯や今の富岡製糸場について伺うことができました。

6. 結果や今後の取り組み

今後は富岡市の財務諸表などを研究し、富岡市・富岡市教育委員会は、歴史・建造物・産業技術などの第一線の研究者による講演を通して、世界遺産・史跡・国宝・重要文化財「旧富岡製糸場」について理解を深めてもらうセミナーやワークショップを行っています。このような活動が、世界遺産を持つ他の県や市町村に生かせることがないかを検討していきたいと考えています。また、他の世界遺産との比較を行い、富岡製糸場が優れている点を挙げ、価値をさらに高めることを行っていきたいと考えています。

7. 参考文献

小室充弘(2014)「世界遺産を活用した観光振興のあり方に関する研究」『運輸政策研究所 第35回 研究報告会』、建井順子(発行年不明)「世界遺産推進運動と持続可能な観光 ―三徳山の世界遺産推進運動に関する考察―」

https://www.kankyo-u.ac.jp/f/innovation/torc_report/report25/25-mitokusan.pdf

(2018年9月21日アクセス)。

富岡製糸場 www.tomioka-silk.jp/ (2018年8月28日アクセス)。

日経トレンドネット 「『世界遺産』の光と影、経済効果 34 億円でも整備に 100 億円!？」

<https://trendy.nikkeibp.co.jp/article/pickup/20140728/1059284/> (2018年9月1日アクセス)。

文化庁 富岡製糸場と絹産業遺産群(平成 26 年記載)

http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/sekai_isan/ichiran/tomioka.html

(2018年9月1日アクセス)。

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様(株式会社日経 BP マーケティング)に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HP などに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください